

JRの業務外注化と非正規雇用化に反対するニュースです。感想や意見、現場の情報をお寄せ下さい。dc-info@deluxe.ocn.ne.jp

3月ダイ改阻止へ共に闘おう

今年も1年よろしくお願ひします



今年も1年間、『外注化阻止ニュース』をよろしくお願ひします。

昨年、JR東日本と関連職場で働く労働者にとって国鉄分割・民営化以来ともいえる大きな転換の年でした。JRは、民営化に協力した東労組でさえ解体して職場を強権支配し、大リストラや分社化を強行しようとしています。

*

動労千葉は34年前の国鉄分割・民営化反対のストライキをはじめ、多くの解雇者を出しながら、一歩も譲らずに闘って団結を守ってきました。公共財産である鉄道を民営化し、20万人も職員の首を切り、金儲けの道具にすることは根本的に間違っているのです。動労千葉はそれを堂々と主張し、胸を張って闘ってきました。

そして会社と東労組の結託体制がついに崩壊したのです。その中で動労千葉は昨年、CTS幕張事業所では147票という圧倒的な信任を受けて関副委員長が職場代表に選出されました。

安全と雇用の破壊を許すな!

東労組の解体と一体で乗務員勤務制度を解体する動きが始まり、「新乗務員勤務の高度な活用」を掲げた基地再編計画が発表されました。無人運転に向けた走行試験が始まり、全面的なワンマン化が動き出そうとしています。

今年3月には秋葉原駅の全面外注化も強行されようとしています。保線・電力・信通で別会社化が進められています。グループ会社の労働組合も一斉に東日本労連を脱退し、労連そのものが消滅しました。貨物でも人事・賃金制度の大改悪が強行されようとしています。

これらは安全と技術継承の崩壊をもたらし、労働者の権利・労働条件を破壊するものです。内房線・外房線をはじめローカル線の切り捨てに対する地域の怒りの声は高まっています。

3月ダイ改との闘い

動労千葉は今年、東労組・JR総連の前身である動労本部から独立して40年を迎えます。30年に及ぶ分割・民営化反対、20年に及ぶ外注化阻止の闘いぬいてきました。動労千葉は3月ダイ改阻止に向けて全力で闘います。

JRとJR関連職場で働くすべての労働者の皆さん、鉄道の安全と雇用、そして労働者の誇りを守るために共に闘おう。